

総務教育常任委員会資料

(平成25年10月4日)

【 件 名 】

- 1 教育委員と公安委員の意見交換会の開催について（警察本部・教育総務課）…………… 1
- 2 「震災の記憶を語り継ぐ」の開催結果について（図書館）…………… 2
- 3 「いきいきライフ応援コーナー」の開設及び「はーとふるサービス（障がい者サービス）」の充実について（図書館）…………… 3
- 4 前田昭博氏の国指定重要無形文化財保持者（人間国宝）認定について
（文化財課・文化政策課・企画課）…………… 5
- 5 第1回「ワールドマスターズゲームズ2021年関西大会」準備委員会について
（企画課・スポーツ健康教育課）…………… 9

教 育 委 員 会

教育委員と公安委員の意見交換会の開催について

平成25年10月4日
警察本部
(生活安全部少年課)
教育総務課

「いじめ問題における警察と教育委員会との連携」をテーマとして、教育委員と公安委員が、更に連携を深めるため意見交換会を開催したものの。

1 概要

警察と学校が、テーマに対する効果的推進を図ることを目的に、情報の共有と現場の課題を共通認識した対策の推進のため、教育委員と公安委員が「スクールサポーターの効果的活用」「学校・警察連絡制度の効果的推進」について意見交換を行った。

2 開催日時・場所

平成25年9月6日(金)午後1時15分から午後2時15分までの間
鳥取県警察本部5階大会議室

3 出席者

教育委員・公安委員等

4 意見交換の状況

【意見交換の状況】

(1) 学校と警察の連携状況

警察本部から、学校・警察連絡制度等を活用したいじめ相談等の受理状況、教育委員会から、いじめ相談に対応する電話、メールの新設や警察と連携した対応状況の説明を行った。



(2) 教育委員・公安委員からの主な意見と方針

① いじめ相談に対応する学校・警察連絡制度、スクールサポーター制度の周知の必要性

学校長や教員及び保護者に対し、新入学期等の研修会を活用した制度の周知を図り、学校現場が、上手く対応できる仕組みを作る。

② いじめ相談等の情報共有システムの必要性

いじめ問題に適宜・適切な対応をするため、教育委員会、警察、知事部局による個人情報の管理に配慮した情報共有システムの構築に向けた検討を進める。

③ ライン等のインターネット利用の危険性等に関する学校教育の推進

警察、教育委員会等が連携して、スマートフォン等へのフィルタリングによる違法有害情報の遮断を図るとともに、インターネット利用の危険性や対処方法に関する児童生徒への講習を一層推進する。

④ 学校等における児童・生徒の安全対策の推進

不審者侵入等に備えた防犯カメラや刺股等の防犯機器の配備の推進やロールプレイング等による訓練の充実を図る。

⑤ 現場の職員等の意見を反映した意見交換と連携の強化

スクールサポーター、少年警察補導員の代表等を交えた意見交換を通じた意見の吸い上げ等により学校と警察の連携強化を図る。

「震災の記憶を語り継ぐ」の開催結果について

平成25年10月4日
図 書 館

1 概要

昭和18年9月10日に起こった「鳥取大震災」から70年が経過したが、残された資料も限られ、記憶を持つ人々も少なくなっている。このため、図書館では、大震災の体験談を地域の記憶として集め、将来へ伝えて行くため、「震災の記憶を語り継ぐ」を開催した。

この取組は、東日本大震災を契機に、第1回目を平成23年9月10日に開催し、今回は、第3回目となる。

2 開催日時 平成25年9月7日(土) 午後1時30分から午後3時

3 参加人数 80名

4 内容

(1) 基調講演 「震災体験の聞き取り調査から」

鳥取大学大学院工学研究科 社会基盤工学専攻 浅井 秀子准教授

震災体験者への聞き取り調査結果を、体験者へのインタビュー映像を交えながら紹介した。
(体験者のインタビューはDVD化される予定)

(2) 座談会 「語り合う震災の記憶」

会場にお越しいただいた体験者6名に、浅井准教授によるインタビュー形式で体験談を発表していただいた。



体験者による体験談をインタビュー形式で発表

5 体験者の主な発言内容

- 自宅で被災し、机の下敷きになり脊椎損傷。母親も亡くなる。その瞬間、1秒か2秒静まりかえり、その後、聞いたこともないような大きな喚声が上がった。人間の力ではどうしようもないこともあるが、家を補強しておけば良かったと思った。
- 今までつらい体験は語るべきではないと思っていたし、聞かれることもなかったが、今回、震災のこわさ、体験した恐怖を伝えていかなければならないと思い、初めて語った。

6 成果・反響

- 一昨年から当館で開催した「震災の記憶を語り継ぐ」は、大きな反響を呼び、今年、いろいろな講演会や新聞・テレビ等で被災者が体験談を話すきっかけとなった。また、鳥取市では、体験者のインタビュー入りの防災啓発DVDが作成された。
- 県立図書館が開催したこの会も、参加者数が毎回増え、また多くの新聞やテレビでとりあげられ、県民の方に、災害の記憶を風化させてはいけないという意識が高まった。
- 今回の座談会と浅井准教授が行ったインタビューは、CD化、DVD化され、県立図書館の郷土資料として保存されることとなった。

「いきいきライフ応援コーナー」の開設及び「は～とふるサービス(障がい者サービス)」の充実について

平成25年10月4日
図 書 館

1 趣旨

超高齢化社会が加速する中、だれもが心と体の健康を維持し、いきいきと安心して老後の生活を送れることを願い、関心を持っている。当館では「図書館を使って毎日いきいき」をテーマに中高年層に関心の高い各分野の図書などを一ヶ所にまとめた「いきいきライフ応援コーナー」を開設した。

2 開設日 平成25年9月13日(金)

3 「いきいきライフ応援コーナー」の概要(7つのコーナーで構成)

(1)「百歳文庫」

日野原重明、吉沢久子、柴田トヨ、石井桃子、水木しげるなど、高齢の著者が書いたもので、いつまでも元気で長生きするパワーをもらえる本。

(2)「心も体もいきいき」

レクリエーション、健康体操、筋力トレーニング、脳トレなど健康増進・健康づくりに役立つ本や、折り紙、ぬり絵、回想法など認知症を予防する本。

(3)「病気になったときに」

癌や認知症など病気について説明した本や、家族の介護、自分の介護が必要になったときに役立つ本。また、病気と闘った手記も、病気になったときの生き方情報として役立つ本。

(4)「人生を楽しむ」

生涯学習、生涯スポーツ、俳句や短歌を詠む文芸活動から、人生に活気と潤いを与える趣味の本。ガーデニング、写真、手芸、料理、ウォーキング、つり、などの楽しい本。

(5)「いきいきセカンドライフ」

定年後の再就職や起業を考えている人、資格を取りたいと思っている人、ボランティア活動や自治会活動に興味のある人に役立つ本。家族との生活や孫育ての本。

(6)「安心セカンドライフ」

老後の関心事である年金や遺言・相続の本、知っておきたい介護制度、成年後見制度の本、悪質商法など、困ったときに役立つ本。

(7)「音で楽しむ読書」

活字が読みづらくなった方が耳で楽しむ、文学作品や講演などの朗読CD。

昔話や詩などをみんなで読む「あたまイキイキ音読教室」(昨年9月から月1回開催。現在、8市町で開催)で使える本、音読に関する本。



いきいきライフ応援コーナー



あたまイキイキ音読教室の様子

4 「は～とふるサービス(障がい者サービス)」の充実について

鳥取県立図書館では、目が不自由な方、活字が読みにくい方、耳が聞こえにくい方、文字が苦手なお子さんなど、図書館の利用に障がいのある方を対象とした「は～とふるサービス」を実施しているが、このたび、いろいろな県民の方に知ってもらい、サービスを普及させるために充実を行った。

(1) は～とふるサービスコーナー」のリニューアル

図書館のは～とふるサービスを広く知ってもらうために、コーナーをリニューアルした。

<展示>

大活字本、LLブック、録音図書、朗読CD、バリアフリーDVD、布絵本、点字資料、障がいを知る本、福祉関係パンフレット、郵送貸出や対面音訳サービスなどの紹介チラシなど

<体験コーナー>

マルチメディア DAISY 図書(パソコンで音声を聞きながら絵や文字を見ることができる) など

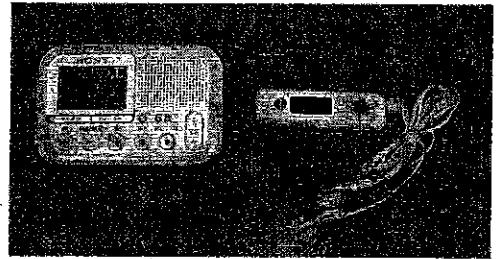
(2) 録音図書の貸出について

平成 25 年 9 月より、朗読CDの貸出に加え、希望される本の朗読を、携帯プレーヤーに吹き込んで貸出するサービスを開始した。

これにより、高齢、病気等で文字が読みにくくなった方、視覚にハンディキャップがある方、病气や手の麻痺等で、本を長時間持ったり、ページをめくったりするのがつらい方にも、本を耳で楽しんでいただくことができる。



リニューアルした「は～とふるサービスコーナー」



録音図書を聞く機器又は携帯プレーヤーに好きな本の音声データを入れて貸出

(3) 「は～とふるサービス」のチラシの配布

は～とふるサービスをわかりやすく紹介するチラシを作成し、福祉関係機関、特別支援学校や図書館等公共施設へ配布。広く県民への周知を図った。

5 今後の予定

今後もサービスの利用を普及するとともに、手話の勉強や、障がい者への理解促進を支援する環境を整える。

(1) 10月の企画展示「もっと知りたい!手話のこと」

(2) は～とふるサービスコーナー「手話に関する本の常設展示」(10月～)

(3) 「手話付き絵本の読み聞かせ」の開催

絵本の読み聞かせに手話をつけ、手話の普及をはじめとする、障がい者への理解を広げる。

日 時: 10月27日(日) 11:00～ 場 所: 鳥取県立図書館 大研修室

前田昭博氏の国指定重要無形文化財保持者（人間国宝）認定について

平成25年10月4日
文化財課
文化政策課
企画課

平成25年7月19日、国の文化審議会（会長 宮田亮平）から文部科学大臣に、国重要無形文化財「白磁」の保持者（人間国宝）として鳥取県指定無形文化財「陶芸」保持者の前田昭博氏を追加認定するよう答申されたところですが、下記のとおり正式認定されました。

また、人間国宝認定にかかる知事報告会を併せて開催しました。

1. 国指定重要無形文化財保持者（人間国宝）認定

(1) 認定内容

- ①名 称 白磁（はくじ）
- ②保持者 前田 昭博（まえた あきひろ）（※認定概要、略歴は別添資料1参照）
- ③生年月日 昭和29年5月1日（満59歳）
- ④住 所 鳥取県鳥取市 （※鳥取県内在住者では初認定）
- ⑤認 定 日 平成25年9月26日

(2) 認定書交付式

- ①日 時 平成25年9月27日（金） 12:15～12:45
- ②場 所 如水会館（東京都千代田区一ツ橋2-1-1）

2. 人間国宝認定にかかる知事報告会

- (1) 日 時 平成25年9月30日（月） 10:00～10:30
- (2) 場 所 知事公邸 第二応接
- (3) 出席者 前田昭博氏、平井知事、林副知事 ほか
- (4) 概 要

①人間国宝の認定報告

〔前田氏の主な発言〕

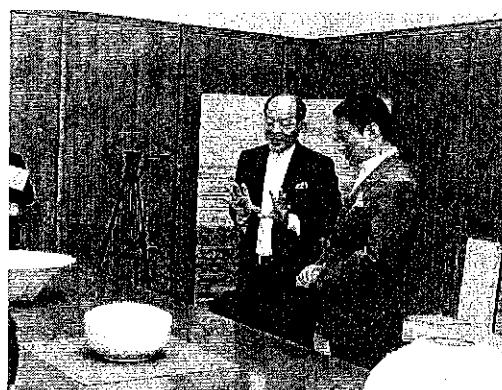
- ・人間国宝認定を励みとして、今後とも創作活動に精進したい。
- ・ものづくりを通じた人づくりなど、社会的にも貢献をしていきたい。

②県政顧問の委嘱（県政顧問名簿は別添資料2参照）

- ・前田氏を県政顧問に委嘱するとともに、工芸を通じた次世代人材育成などの分野で氏の協力をいただくこととした。



認定書交付式



報告会

国指定重要無形文化財の保持者認定（前田昭博氏）について

名 称 白磁（はくじ）
 保持者 前田 昭博（まえた あきひろ）
 生年月日 昭和29年5月1日（満59歳）
 住 所 鳥取県鳥取市

概 要

（1）重要無形文化財「白磁」について

「白磁」（平成7年5月31日指定）は、陶石や磁土を主原料として成形し、その上に長石・石灰等を調合した釉薬をかけて焼成する陶芸技法で、我が国では17世紀初頭に有田で磁器の焼成が始まって以来、格調の高い白磁が各地で焼成され、その伝統技法が現代に伝えられている。

*なお、現在保持者として井上萬二氏が認定されており、前田氏で2人目となる。



制作風景（面取）

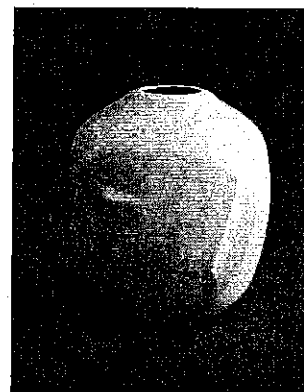
（2）前田昭博氏について

前田氏は、鳥取県八頭郡河原町（現・鳥取市）に生まれ、大阪芸術大学工芸学科で陶芸を専攻し、卒業後郷里に築窯し、独立して作陶に専念した。以来、白磁の制作技法や表現について独自に研究を続け、活発な創作活動を展開しながら技を錬磨し、高度に体得して今日に至る。

同氏の制作技法は、天草産の陶石を原料とし、轆轤で造形した後、土が乾燥する前に器の表面から手指によって圧力を加え、面取りや捻れ状の動きのある凹凸を器面に施し、さらに光沢を抑えた半透明の釉薬を施して焼成し、白磁の白一色に深みのある陰翳を与えて完成させるものである。この作風は、伝統的な技法を踏まえつつ豊かな芸術性を備え、かつ現代感覚に溢れており、白磁の世界に新たな展開を示すものとして高い評価を受けている。

同氏は、平成12年の第47回日本伝統工芸展において朝日新聞社賞（優秀賞）を受賞、同15年の第50回同展において第50回展記念賞（優秀賞）を受賞した。同じく同15年に第20回記念田部美術館大賞「茶の湯の造形展」田部美術館大賞を受賞し、同16年に日本陶磁協会賞、同17年に第60回新匠工芸会展新匠工芸会60回記念大賞を受賞するなど、多方面から高い評価を得ている。また、平成19年には紫綬褒章を受章した。このほか、海外にも積極的に作品を発表し、高く評価されている。

このほか、平成18年第53回日本伝統工芸展で鑑査委員（以後4回歴任）を務めるなど、後進の指導・育成にも尽力している。

白瓷面取壺 1991
鳥取県立博物館所蔵

（3）備考

今回の認定は、鳥取県初の国指定重要無形文化財保持者（通称人間国宝）認定となる。（但し、鳥取県出身者では大坂弘道氏が「木工芸」で認定を受けている）

なお、現在認定されている県指定無形文化財保持者については、重要無形文化財保持者認定日に、解除となる。

前田昭博氏の略歴

- 昭和29年 鳥取県八頭郡河原町（現鳥取市）に生まれる
- 同 52年 大阪芸術大学芸術学部工芸学科陶芸専攻卒業
- 同 54年 第5回日本陶芸展初入選
- 同 58年 第30回日本伝統工芸展初入選
- 平成 2年 社団法人日本工芸会（現 公益社団法人日本工芸会）正会員（現在に至る）
- 同 3年 第11回日本陶芸展「毎日新聞社賞」受賞
- 同 5年 第48回新匠工芸会展「富本賞」受賞
- 同 6年 第37回日本工芸会中国支部展「金重陶陽賞」受賞
- 同 9年 第10回MOA岡田茂吉賞展「優秀賞」受賞
- 同 12年 第47回日本伝統工芸展「朝日新聞社賞」受賞
- 同 15年 第20回記念田部美術館大賞「茶の湯の造形展」大賞受賞
第2回京畿道世界陶磁ビエンナーレ銅賞受賞
第50回日本伝統工芸展「第50回展記念賞」受賞
- 同 16年 平成15年度日本陶磁協会賞受賞
- 同 17年 第60回記念新匠工芸展「60回記念大賞」受賞
- 同 18年 第53回日本伝統工芸展鑑査委員（以後4回歴任）
- 同 19年 「わざの美 伝統工芸の50年」展（英国・大英博物館ほか主催）招待出品
紫綬褒章受章
- 同 21年 鳥取県立博物館企画展「前田昭博 白瓷の造形」
- 同 22年 社団法人日本工芸会（現 公益社団法人日本工芸会）理事（同24年まで）
- 同 23年 鳥取県文化功労賞受賞
- 同 24年 鳥取県指定無形文化財「陶芸」保持者
公益社団法人日本工芸会常任理事（現在に至る）
- 同 25年 国指定重要無形文化財保持者（人間国宝）認定

県政顧問名簿

平成25年10月4日時点

【地域別、五十音順】

番号	地域	氏名	職業等	備考
1	東京	かどわき たかし 門脇 孝	東京大学大学院医学系研究科 教授	
2	東京	しもむら せつひろ 下村 節宏	三菱電機(株)取締役会長	
3	東京	たがわ ひろみ 田川 博己	(株)JTB代表取締役社長	
4	東京	はやした ひでき 林田 英樹	前 国立新美術館長 (初代、H18.7～H23.12)	
5	東京	ふくみや けんいち 福宮 賢一	明治大学学長	
6	東京	やまだ けんすけ 山田 憲典	(株)不二家 代表取締役会長 山崎製パン(株) 取締役副社長	
7	東京	よねはま かずひで 米濱 和英	(株)リンガーハット 代表取締役会長兼社長	
8	関西	いのうえ のりゆき 井上 礼之	ダイキン工業(株)会長兼CEO	
9	関西	うえだ りえこ 上田 理恵子	(株)マザーネット代表取締役社長	
10	関西	おくた つとむ 奥田 務	J. フロントリテイリング(株) 取締役相談役	
11	関西	さわ しろう 澤 志郎	日本交通(株)取締役社長	
12	鳥取	まえた あきひろ 前田 昭博	国重要無形文化財「白磁」保持者 (人間国宝)	

第1回「ワールドマスターズゲームズ2021年関西大会」準備委員会について

平成25年10月4日
企 画 課
スポーツ健康教育課

9月26日(木)に大阪市で開催された第1回「ワールドマスターズゲームズ2021年関西大会」準備委員会について、次のとおり報告します。

1. 日 時 平成25年9月26日(木) 16時00分～17時00分
2. 場 所 大阪市内(リーガロイヤルNCB)
3. 出席者 井戸 関西広域連合長、各府県委員代理(鳥取県 田中未来づくり推進局長)
森 関西経済連合会会長、関西経済同友会、大阪・京都・神戸商工会議所委員代理
各府県体育協会(鳥取県体育協会 川口専務理事)
高橋近畿大学教授、長ヶ原神戸大学大学院准教授
4. 議 題 次の議案について、関西広域連合本部事務局から説明があり、特に異論はなく原案どおり可決された。

【議案1】 準備委員会設立趣意書について

【議案2】 準備委員会規約について

【議案3】 国際マスターズゲームズ協会(IMGA)への申し入れ書(9月27日に発送済み)

…申し入れ書には下記事項を記載し、準備委員会会長の井戸連合長名で発出

- ・ 関西経済連合会、関西経済同友会をはじめとする関西の主要な経済団体、関西広域連合並びに関連する府県及び市、関連する府県の体育協会で構成する準備委員会を設立したこと。
- ・ 査察の結果、IMGAから開催の承認を得られた場合には、2021年大会の関西での開催を受けること。

【議案4】 開催収支計画(案)について

…大会の事業規模をシドニー大会、オークランド大会規模を勘案し約28億円とする。
(なお事業費については概算であり、今後精査していく。)

5. その他

○平成25年度事業計画について

- ・ 事務局から、準備委員会で25年度に実施を行う事業の計画について説明があった。

〔 大会の開催に必要な方針等の検討、国等への支援要請、競技団体との調整、IMGA査察チームの受入、実行組織等の検討 〕

- ・ また、IMGAの査察チームの受入を11月6日～13日の期間で打診を受けており、その査察時において、可能であれば調印を行うことも検討している旨の説明があった。

○ワールドマスターズゲームズ2021年関西大会準備委員会運営経費について

- ・ 事務局から、準備委員会の運営経費の案について説明があった
(資料印刷費や旅費等の関係諸団体連携費用及び査察団の受入経費890万円程度の見込み)
- ・ 会議の場において、井戸連合長から森関西経済連合会会長に、官民連携による取組みであることから、経済界から1/2程度を負担いただきたい旨の申し入れが行われた。

<参考>

準備委員会には事務的に議論を進めていく幹事会が設置され、今後具体の検討が進められる。第1回の準備委員会開催に先立ち、9月18日に大阪市内において幹事会が開催された。

幹事会メンバー： 各府県市スポーツ担当課長(鳥取県；吹野スポーツ健康教育課長)
関西経済連合会、関西経済同友会、大阪・京都・神戸・堺商工会議所
各府県体育協会、スポーツコミッション関西 他

「ワールドマスターズゲームズ 2021 年関西大会」準備委員会設立趣意書

平成 24 年 10 月現在、我が国の総人口に占める 65 歳以上人口の割合（高齢化率）は 24%を越え、このまま推移すれば平成 72（2060）年には高齢化率は 39.9%に達し、2.5 人に 1 人が 65 歳以上、4 人に 1 人が 75 歳以上となるとされています。住民生活の維持と質的な向上を図り、これからの超高齢社会を元気で活力のあるものにしなければなりません。

また、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催も決まり、全国的な盛り上がり期待される中、その活力を関西に取り込むためのアクションが求められます。

このような中、関西広域連合では、生涯スポーツの普及と振興、健康志向の活力ある高齢社会の実現をめざし、4 年に 1 度の生涯スポーツの国際総合競技大会である「ワールドマスターズゲームズ 2021 年大会」を関西に招致することとしました。

国内外から多くの選手が集う本大会には、スポーツツーリズムの要素も多く、観光関連産業や文化の活性化、国際交流の促進などでも大きな意義があります。質の高いスポーツ施設や魅力ある歴史、文化、観光資源を数多く擁し、ホスピタリティやボランティア精神に富む非常に高いポテンシャルを持った関西は、本大会の開催地として優れた環境を備えていると言えます。

活力ある高齢社会の実現を目指しつつ、あわせて観光関連産業の活性化・文化の活性化、国際交流の促進、世界的にまだまだ低い「関西」の知名度向上もターゲットにしながら、8 年後に向け活動を始めるため「ワールドマスターズゲームズ 2021 年関西大会」準備委員会を設立いたします。

平成 25 年 9 月 26 日

「ワールドマスターズゲームズ 2021 年関西大会」準備委員会

「ワールドマスターズゲームズ2021年関西大会」準備委員会 委員一覧

団体名等	職	氏名
関西広域連合	連合長	井戸敏三
関西広域連合	副連合長	仁坂吉伸
滋賀県	知事	嘉田由紀子
京都府	知事	山田啓二
兵庫県	知事	井戸敏三
和歌山県	知事	仁坂吉伸
鳥取県	知事	平井伸治
徳島県	知事	飯泉嘉門
京都市	市長	門川大作
堺市	市長	竹山修身
神戸市	市長	矢田立郎
関西経済連合会	会長	森詳介
大阪商工会議所	会頭	佐藤茂雄
京都商工会議所	会頭	立石義雄
神戸商工会議所	会頭	大橋忠晴
堺商工会議所	会頭	前田寛司
関西経済同友会	代表幹事	鳥井信吾
滋賀県体育協会	会長	河本英典
京都府体育協会	会長	武田暹
兵庫県体育協会	会長	井戸敏三
和歌山県体育協会	会長	仁坂吉伸
鳥取県体育協会	会長	油野利博
徳島県体育協会	会長	飯泉嘉門
学識経験者	近畿大学教授	高橋一夫
学識経験者	神戸大学准教授	長ヶ原誠

2013 年 9 月 26 日

国際マスターズゲームズ協会
Kai Holm 会長

冒頭にあたり、ワールドマスターズゲームズの発展に向けた会長並びに貴協会のご努力に敬意を表するとともに、イタリア・トリノにおける第 8 回国際大会の成功を心からお喜び申し上げます。

さて、関西広域連合委員会から、平井委員（鳥取県知事）と門川委員（京都市長）を団長とする視察団が大会運営の状況調査のためにトリノ市を訪問した際は、Kai Holm 会長並びに Jens V Holm 事務局長から、多くの有益な助言をいただくことができました。両団長からは、ワールドマスターズ大会の発展に取り組む会長並びに理事の皆さん、事務局の方々の真摯な姿勢を理解することができたと聞いています。また、会長との面談では、①関西として正式に招致するなら 10 月 1 日までに収支計画を提出すること、②関西開催が決定すれば開催権利金（500 万€）の 10% を 2016 年に支払い、残額を 5 年間の分割払いとすること、③本年の 11 月第 2～3 週目を目処に貴協会による査察を受けること、などが確認できた旨報告を受けました。

以上のことを踏まえ、8 月 29 日に開催した関西広域連合委員会において関西招致の方針について協議しました。その結果、関西広域連合として 2021 年大会の関西での開催をめざして必要な手続きを正式に進めることとし、その準備のための官民連携組織を立ち上げることなどを決定しましたのでお知らせします。

この決定にもとづき、関西においては、既に、関西経済連合会、関西経済同友会をはじめとする関西の主要な経済団体、関西広域連合並びに関連する府県及び市、関連する府県の体育協会等で構成する準備委員会を設立しました。

ついでには、査察の結果、貴協会より開催の承認を得られた場合には、2021 年大会の関西での開催をお受けすることを正式にお伝えします。お約束に従い収支計画書を提出するとともに、準備委員会を代表して、責任をもって大会運営に必要な財源確保のための可能な限りの手段を講じます。

貴協会におかれては、2021 年大会の関西開催に対し、引き続きご支援を頂きますようお願いいたします。

11 月に関西にお越しの際には、豊かな自然、おいしい食事など、秋真っ盛りの関西をたっぷりお楽しみいただけるものと思います。準備委員会一同、心からお待ちしています。

ワールドマスターズゲームズ 2021 年関西大会
準備委員会会長
関西広域連合長 井戸 敏三（兵庫県知事）

ワールドマスターズゲームズ 2021 年関西大会 収支計画概算書

(単位：百万円)

収 入		支 出	
① 参加費 (@20,000×3万人)	600 程度	① 大会運営費	1,250 程度
② 開催府県市	700 程度	② 大会準備費	1,400 程度
③ 民間等 (スポンサー、助成等)	700 程度	内 開催権利金	約 650
④ 公的補助	700 程度	内 広告宣伝費	100 程度
⑤ 物販収入等	100 程度	内 マーケティング費	100 程度
		③ 予備費	150 程度
合 計	2,800 程度	合 計	2,800 程度

上記収支計画をもとに試算した経済波及効果は、約 140 億円となる。

(単位：百万円)

	項 目	金 額
直接効果	事業費	2,032
	観光消費額	7,027
	合計	9,059
1次波及効果	事業費	784
	観光消費額	3,605
	合計	4,389
2次波及効果		607
合 計		14,055

*スポーツコミッション関西による試算

*平成17年近畿地域産業連関表を使用(近畿経済産業局管内の経済波及効果を試算)

*直接効果の事業費は、開催権利金6.5億円を除く事業費21.5億円のうち、域内需要額を試算

*直接効果の観光消費額は、大会参加者を競技者・同行者・家族を含め6万人とし、シドニー大会の事例を参考に1人あたり消費額を使用して試算

<1人あたり消費額(参加人数)>

国内日帰り 44,941円(18,000人)

国内宿泊 173,308円(12,000人)

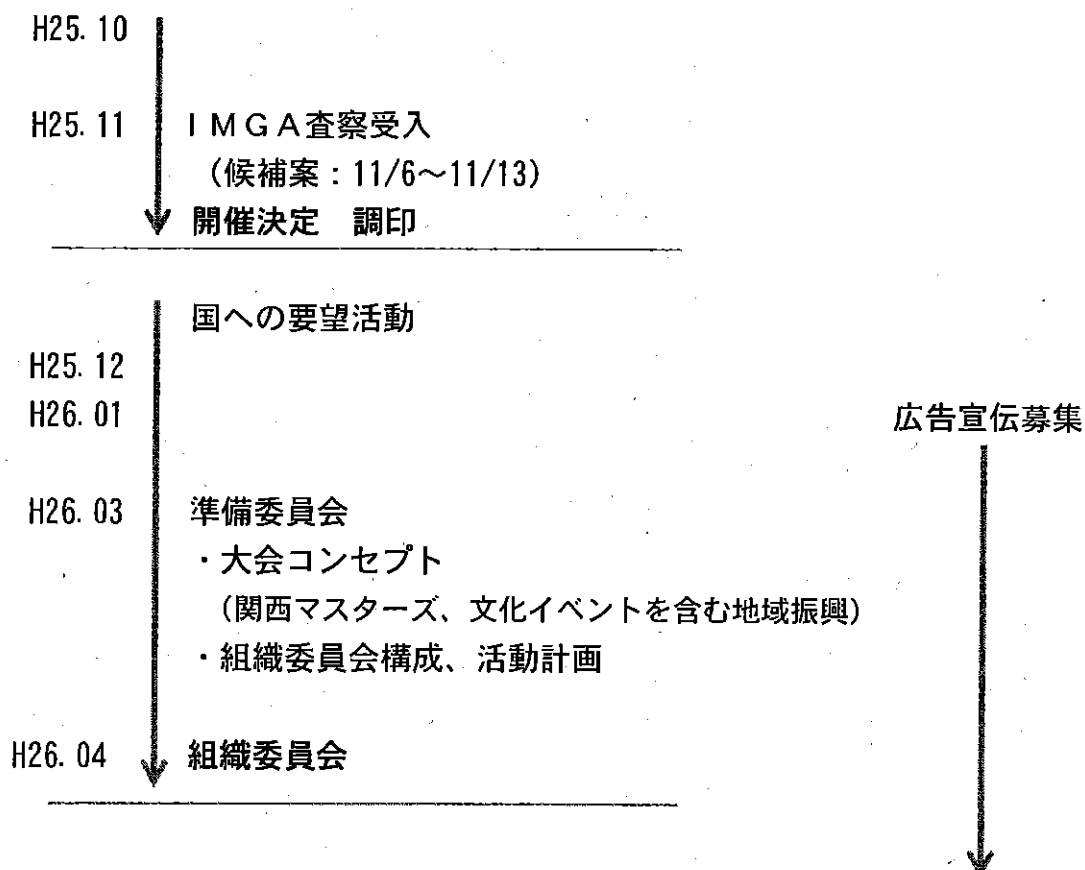
海外 283,081円(30,000人)

*2次波及効果は、直接効果と1次波及効果によって生み出された雇用者所得のうち消費に当てられた部分が新たに生み出す効果

平成 25 年度 事業計画 (案)

- 1 大会の開催に必要な方針等の検討
大会コンセプトの整理、会期・競技・会場の選定の考え方整理、関係団体等の負担の考え方整理 等
- 2 国等への支援要請活動
国及び関係団体への支援要請 等
- 3 IMGA 及び国内競技団体等との連絡調整
IMGA 査察チームの受け入れ、競技団体への協力依頼・調整 等
- 4 実行組織の設立準備
実行組織の事業・体制・予算・事務局等の検討 等

(参考) スケジュール案



3 バリアフリーな設備でサポート!

設備

◆ハートフル駐車場



お体の不自由な方や同行の方が駐車できます。

"車椅子使用者連絡チャイム"が設置されています。移動が困難な方は職員を呼んでください。

※「ハートフル駐車場利用証」(詳しくは県福祉保健課まで)をお持ちの方が優先的に使っていただけます。

◆点字ブロック

玄関から1階カウンターまで設置されています。



◆多目的トイレ

(オストメイト対応1ヶ所)

◆エレベーター

音声案内や手すり、点字表示版、鏡がついています。

◆車椅子専用閲覧机

◆車椅子、ベビーカー

◆拡大読書器

印刷物を大きく映し出します。



◆筆談用ボード

耳やことばが不自由な方とのコミュニケーションを円滑にします。



◆老眼鏡、天眼鏡

機器

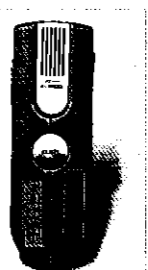
◆録音図書再生機(プレクストーク)

録音図書を再生できます。



◆携帯助聴器「ボイスメッセ」

聞きづらいと感じたときにサッと耳に当てるだけで会話が聞こえやすくなります。



何かお困りのことがあればお気軽におたずねください!

図書館を利用するのに困っていることや、お探しの資料があればお気軽におたずねください。電話や手紙、メールでもお受けします。

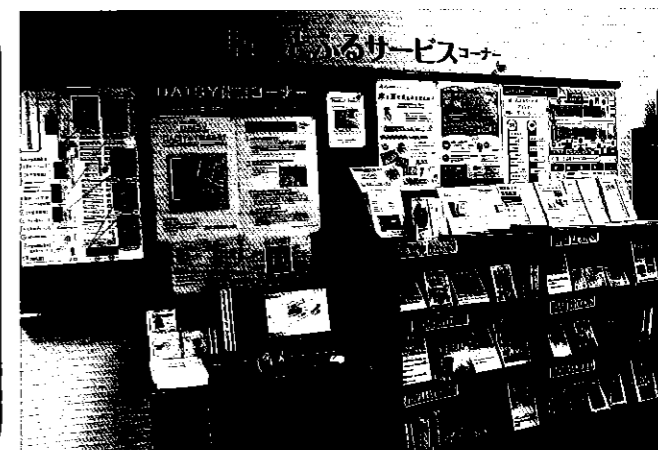
すべての人にすべての図書館サービス・資料を!

は〜とふるサービス

図書館を利用するのに困っていることはありませんか?

例えば...

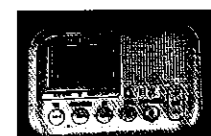
- 活字が読みにくい
- 耳が聞こえにくい
- ページがめくれない
- 図書館に行けない
- 妊娠していて思うように動けない



図書館がサポート

1 さまざまな資料でサポート!

- 大きな文字で読みやすい『大活字本』
- 本を耳で楽しむ『録音図書』など



録音図書を聞く機器

2 いろんな「困った」に応じたサポート!

- 図書館へ直接来られない方の自宅に郵送する『郵送貸出』
- 希望の本を代わりに読む『対面音訳』など



対面音訳風景

3 バリアフリーな設備でサポート!

- ハートフル駐車場や多目的トイレなど
- コミュニケーションを円滑にするための携帯助聴器「ボイスメッセ」や筆談ボードなど

※一部利用制限があります
詳しくはお問い合わせください

「図書館って便利だね!」



とっとりけんりつ としょ かん
鳥取県立図書館

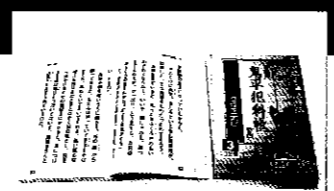
〒680-0017 鳥取市尚徳町 147-10 |
電話 0857-26-8155 FAX 0857-22-2996
メール toshokan@pref.tottori.jp
WEB http://www.library.pref.tottori.jp/

1 さまざまな資料でサポート!

読みやすい資料

大活字本

文字が大きく読みやすい活字で書かれています。弱視の方、高齢の方で小さな文字が読みづらい方にもご利用いただけます。児童書もあります。



LLブック

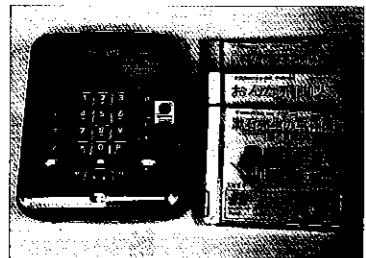
やさしいことばや文章、写真やイラスト、絵文字を使い、わかりやすく、読みやすいように工夫された図書です。



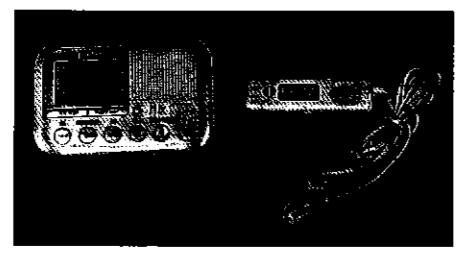
耳で楽しむ資料

録音図書(DAISY図書)*

活字を読むのが困難な方のための資料で、文学作品などを音声で聞くことができます。CDや携帯音楽プレーヤーで楽しむことができます。



貸出したCDはパソコンでも再生できます。



好きな本の音声データを入れて貸出できます。



時代小説や落語、講演など

朗読CD

文学作品の朗読や音楽等が録音されています。お手持ちのCDプレーヤーで聞くことができます。

目でも耳でも楽しめる資料

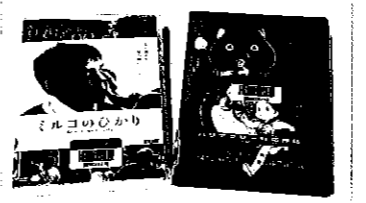
マルチメディア DAISY 図書*

パソコンで音声を聞きながら、絵や文字を見ることができます。読んでいる部分がハイライトされるので、文字が苦手なお子さんでも、どこを読んでいるのかわかります。



バリアフリー DVD*

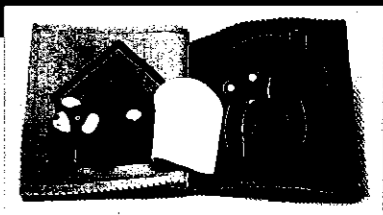
視覚や聴覚に障がいのある方もだれもが楽しめる映画です。セリフの合間にその場面を説明する音声ガイドが入っています。日本映画にも字幕がついています。



他にも...

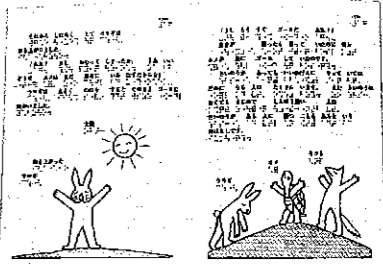
布絵本*

フェルトなどのやわらかい布でできている絵本です。さわって物の形をたしかめたり、物語を楽しんだりします。



点字資料

点字とは、目の不自由な人が指先でふれて読みとれるように工夫した文字です。もりあがった点を組み合わせて、ひらがなや記号をあらわしています。点字資料は鳥取盲学校にあります。



2 いろいろな『困った』に応じたサポート!

郵送貸出サービス*

図書館を利用するのが困難な方に、図書館資料の郵送貸出を行っています。郵送貸出サービスを利用できる方は、県内在住で、身体障がい者手帳の交付を受けている方や、長期療養中の方などです。詳しくはお気軽にお問い合わせください。

対面音訳サービス

視力の低下により活字が読みづらい方や本を持つたりページをめくったりすることが困難な方に、代わりにご希望の図書等をお読みします。来館、郵便、電話、ファックス、メールのいずれかで、次のことを申し込んでください。

- ・氏名、電話番号
- ・希望される図書
- ・希望される日時

送迎サービス

図書館へ来館されるときに不安を感じる方は、図書館最寄りのバス停(県庁・日赤前バス停)まで送迎いたします。ご希望の方は事前にご連絡ください。

鳥取県立図書館は遠い...という方には

お住まいの市町村図書館で本が借りられます!

お住まいの市町村図書館(日吉津村は中央公民館図書室)でお申し込みいただくと、図書館・図書室までお届けします。送料は無料です。

県立図書館で借りた本はお住まいの市町村図書館で返却できます!

本を返却するときに、県立図書館へ連絡してください。普段お使いの図書館(日吉津村は中央公民館図書室)の窓口で返却できます。(鳥取市立中央図書館はのぞきます。)

*は事前登録が必要です。詳しくは職員におたずねください。

ビジネス ライブラリー フォーラム

地域産業を支える 公共図書館の可能性

地域経済の発展に貢献できる図書館の可能性を、ディスカッションの中から明らかにしていきます。様々なビジネスシーンで使える資料と職員の存在を多くの皆様に知っていただき活用していただきたいと思います。

日時 平成25年 **10月25日** (金) (受付12:30~) **13:30~16:30**

場所 **米子市立図書館** (米子市中町8番地ハピネライフケア文化広場 ☎0859-22-2612)

プログラム

- 13:30 ● 1. 開 会
挨拶 横濱 純一(鳥取県教育委員会教育長)
野坂 康夫(米子市長)
- 13:45 ● 2. 記念講演
「公共図書館におけるビジネス支援サービスの可能性」
竹内 利明氏(ビジネス支援図書館推進協議会長・電気通信大学特任教授)
- 14:45 ● 3. 報 告
「鳥取県内図書館のビジネス支援と今後の展開」
高橋 紀子(鳥取県立図書館長)
- 15:00 ● 休 憩
- 15:10 ● 4. パネルディスカッション
テーマ:「地域の産業を支える公共図書館の可能性」
●コーディネーター
糸賀 雅児氏(慶應義塾大学文学部教授)
●パネリスト
竹内 利明氏(ビジネス支援図書館推進協議会長・電気通信大学特任教授)
杉原弘一郎氏(米子商工会議所工業部会長・米子市文化財団理事長)
田中 義晴氏(税理士法人田中事務所専務、鳥取・米子商工会議所創業塾講師)
沢田 克也氏(沢田防災技研代表取締役、図書館発のビジネスで特許庁長官賞受賞)
小林 隆志(鳥取県立図書館支援協力課長)
- 16:25 ● 5. 閉 会(16:30終了)
※終了後、希望者を対象に米子市立図書館ビジネスコーナーの見学を予定
鳥取県立図書館のビジネス資料を展示し、データベースのデモを行う予定



国立大学法人
電気通信大学特任教授
竹内 利明氏

プロフィール

平成12年にビジネス支援図書館協議会を立上げ以降、会長を務める。ビジネス支援図書館の普及啓発に努め、全国で200以上の図書館がビジネス支援に取り組み原動力となる。企業経営の真髄と図書館機能を知り尽くし、図書館の活用法と可能性を説いている。

2003年創業ベンチャー・国民フォーラム創業支援家部門奨励賞受賞

2011年電気通信大学平成22年度優秀教員賞受賞

■ 主 催：鳥取県立図書館、米子市立図書館 ■ 共 催：米子商工会議所、ビジネス支援図書館推進協議会

■ 後 援：鳥取商工会議所／倉吉商工会議所／境港商工会議所／鳥取県商工会連合会／鳥取県中小企業団体中央会／一般社団法人米子青年会議所
一般社団法人境港青年会議所／鳥取県西部中小企業青年中央会／鳥取県中小企業家同友会／一般社団法人鳥取県中小企業診断士協会
株式会社日本政策金融公庫／地方独立行政法人鳥取県産業技術センター／独立行政法人日本貿易振興機構鳥取貿易情報センター
公益財団法人鳥取県産業振興機構／社団法人日本図書館協会／鳥取県図書館協会／鳥取県公共図書館協議会

ご存じですか?
図書館のビジネス
支援サービス

仕事に『役立つ』 図書館の使い方

書店で入手できない本を利用する

- ・民間調査機関のマーケティング資料
- ・国や都道府県が実施する統計資料
- ・業界団体が発行する専門雑誌や専門新聞 等
県立図書館に来館されなくても市町村図書館で借りて
いただくことが出来ます。



ビジネスヒント! 調査コーナー



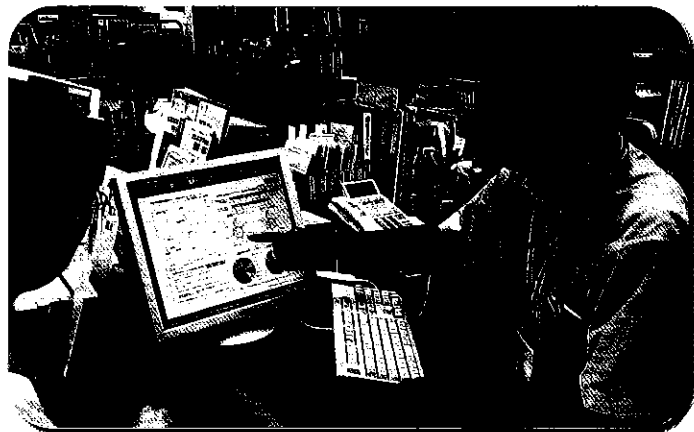
データベースも強い味方

- ・県立図書館は12種類のデータベースと契約。
- ・商圏分析システム MieNa は、米子市立図書館・倉吉市立図書館でも利用可能。
調査可能な内容……
会社情報、人物情報、商圏分析、新聞・雑誌記事、法令・判例、農業情報、商品の売れ筋情報
- ・検索結果は印刷が可能(白黒1枚10円、カラー1枚20円)
直接来館できない方のために代行検索も出来ます。
郵送でお送りしますので費用を金融機関にお振込みください。

図書館員が調査をお手伝い

平成24年度に寄せられた資料相談は、約10,000件

- ・食材を輸入したいが輸入禁止品目に該当するか?
- ・車椅子の部品を製造したい。車椅子製造の市場規模を知りたい。
- ・創業ビジネスの業界動向を知りたい。
- ・ゴルフ用品店開業のため、この地域の販売予測を立てたい。



鳥取県立図書館の相談会情報

■『起業・経営なんでも相談会』

開催日：毎月第2日曜日
相談員：鳥取県内の中小企業診断士

■『創業・融資相談会』

開催日：毎月第2水曜日
相談員：日本政策金融公庫の職員

■『特許相談会』

特許・商標・意匠などの相談が出来ます。
開催日：毎月第2火曜日
相談員：鳥取県知的所有権センターの職員

※お尋ねは、鳥取県立図書館くらし・産業支援担当まで

☎0857-26-8155

倉吉市立図書館の相談会情報

■『起業・経営なんでも相談会』

開催日：毎月第4日曜日
相談員：鳥取県内の中小企業診断士

■『特許情報相談会』

開催日：毎月第3火曜日
相談会：鳥取県知的所有権センターの職員

※開催日は、休館日の都合等により変更になる場合があります。相談を御希望の方は下記の電話番号まで御連絡ください。

※お尋ねは、倉吉市立図書館ビジネス支援担当まで

☎0858-47-1183

米子市立図書館の相談会情報

■『ビジネス情報相談会』

市場、技術動向、企業・人物情報、商圏分析など様々な調査のお手伝いをします。
開催日：毎月第3金曜日
相談員：鳥取県立図書館の司書職員

■『起業・事業融資相談会』

開催日：毎月第2水曜日
相談員：日本政策金融公庫の職員

■『特許情報相談会』

開催日：毎月第4火曜日
相談員：鳥取県知的所有権センターの職員

※お尋ねは、米子市立図書館ビジネス支援担当まで

☎0859-22-2612